



2018年度 町田第一地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2018年10月31日 (水) 19:00～21:00

[場所] 文学館 大会議室

司会進行： 市民協働推進担当部長 平林 隆彦
町田第一地区町内会・自治会連合会 副会長 鈴木 暢生

○連合会長の挨拶

町田第一地区町内会・自治会連合会 会長 宮島 榮一 (5分)

○市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一 (5分)

○職員の紹介

(5分)

第1部 地域の要望に関する意見交換

(50分)

1 小田急線町田駅周辺のバリアフリー化に関して

【都市づくり部】

2 町田市中心商店街に関して

【経済観光部】

3 芹ヶ谷公園内施設に関して

【都市づくり部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

(50分)

○閉会の挨拶

閉会挨拶 町田第一地区町内会・自治会連合会 副会長 古木 一男

(5分)

2018度 町田第一地区町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2018年10月31日 (水) 19:00～21:00

[場 所] 文学館 大会議室

[出席者] 石阪市長

政策経営部広報担当部長 若林

経済観光部長 小池

都市づくり部長 神蔵

市民部市民協働推進担当部長 平林

市民部市民協働推進課長 中坪

市民部市民協働推進課担当課長 (地域担当) 市川

市民部市民協働推進課(3名)

町田第一地区町内会・自治会連合会長 ほか19名

司会進行：市民協働推進担当部長

町田第一地区町内会・自治会連合会副会長

○地区連合会長の挨拶

今日は、ほかの地区よりも第一地区の懇談会に大勢集まっていたいただくと報告を受けています。協力体制が非常によろしいので、私としては非常に喜んでおります。しっかりと市長さんに常日ごろの思いとか要望、意見をどんどん述べていただいて、よかったなという懇談会にしていきたいと思いますので、ぜひ遠慮しないで発言をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○市長の挨拶 (町田市長)

皆さん、こんばんは。改めまして、皆さんには本当にお世話になっておりまして、御礼申し上げます。今日は19時からということで、途中の20時過ぎぐらいから第2部ということでもあります。そちらでは少し市政の報告をさせていただきたいと思います。中心市街地を抱えるこの第一地区は町田市全体の顔ですので、非常に重要な場所でもあります。ここの町に来た人のイメージを決めてしまうエリアです。ここの町に来たらとてもよかったということになると、また来てくれる、もしくは、今度はここに引っ越してこようということになると思います。その割にはちゃんとやっていないではないかという意見が出そうで心配なのですが、トイレが汚いではないかなど、さんざん言

われています。中心市街地を含めたエリアというのは、私が社長をやっているぽっぽ町田のまちづくり公社も含めて市として頑張っていかなければいけないと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

○出席者の紹介

地区連合会会長

2016年、2017年度にわたり要望しておりました消防署の移転に伴う中心市街地の防災救命対策に対する市民の不安に関しまして、分署の設置をしていただき、市民より安全と感謝の声が多数寄せられています。市長、本当にありがとうございました。

第1部 地域の要望に関する意見交換

1 小田急線町田駅周辺のバリアフリー化に関して

現在、町田駅周辺より改札口に至る行程で、障がい者及び子育てをしている方たち及び高齢者、特に車椅子利用者が大変不自由を感じており、数カ所にエレベーター、エスカレーターの設置を要望いたします。

2 町田市中心商店街に関して

市民及び他地域より訪れる多くの買物客がより楽しく、気持ち良く、安心して買い物が楽しめるよう、緑・植物の設置、休憩所の設置、また、それら施設の案内板の設置を要望いたします。

3 芹ヶ谷公園内施設に関して

この公園は、駅より近く、市内にある公園の中でも、多くの市民が集います。春には桜まつりの本会場として、花見を楽しむ市民が多数集うのですが、意外にも桜の本数の少なさにガッカリという声が多数聞かれます。桜の増殖を要望し、花見の名所地となるようお願いいたします。

また、四季を通じ、大きなイベントが多数開催され、憩いの場となっておりますが、多くの人が集う公園としては、あまりにもトイレが粗末であるため、早急に改築していただきますよう要望いたします。

【回答】

都市づくり部長

1 町田駅周辺のバリアフリー化につきましては、2011年11月に策定した「町田駅周辺地区バリアフリー基本構想」で、整備の優先度や実現可能性を考慮して、取り組むべき事項を整理しております。

その中で、小田急線町田駅での長期的な対策として、改札口へのアクセス向上を整備項目として位置づけております。

小田急線町田駅周辺のバリアフリー化を推進するためには、行政、鉄道事業者、施設所有者等の多様な主体が協力し合わなければなりません。

さらなるバリアフリー化の実現に向けて、今後も引き続き、鉄道事業者及び施設所有者等に働きかけを行ってまいります。

このペーパーの北口の②から出入りするのが改札口で一番近いです。あと、カリヨン広場の交番のわきからエレベーターでおおりて、スターバックスのわきを抜けていくと改札口に出られるというのもわかります。あとは、実際にはなかなかあれですが、JRへ行く連絡口とモディのところも車椅子が出入りできるという、町田駅では3カ所の出入り口がありますが、やはりタクシー乗り場へ行けるのは北口②です。ここでの課題は、出たところがかんりの勾配の坂道なので、高齢者の方、ベビーカーを押されている方はかなり注意をしていただかないと危ないところです。実際にエレベーターをどこにつけるかは、なかなか現状では難しいですが、10月18日に小田急電鉄の交通企画部へ改めて要請を行って、これから一緒にまた考えていきたいと。場合によっては小田急デパートの入り口のどこかを改変しながらでも考えていかなくはないというお互いの問題意識は共有したところです。まだここというところには至っていませんが、今後検討を進めたいと考えています。

《質疑》

原町田四丁目第二町会

エレベーターとエスカレーターをいつも使わせていただいて、どこにあるかは頭に入っているのですが、もしつくとすると、費用的には、市と小田急電鉄と折半という形になるのですか。

都市づくり部長

これはなかなか難しいところでして、小田急電鉄の見解は、駅から外に出るところのバリアフリーは基本的にできているという認識です。そこから出たところは斜面のところも町田市の市道ですし、要は行政側がその分のアクセスというか、費用負担を考えていただきたいというのは、決まっているわけではなくて、そこはこれから交渉ですが、小田急側としては、自分たちのところはもうできているというお答えを一旦はいただいています。ですので、これからどういう形で進めていくかは、改めて交渉というところです。

原町田四丁目第一町内会

簡単でございますけれども、交番のところに小田急に入る階段がありますね、あそこを何とかエスカレーターにしてももらえないかな。私もつえをつい

て歩いていますので、あそこは上がったりおりたり大変なのです。向こうへ行くと遠回りなのですが、あそこだと近くで帰れますので、できればエスカレーターがいいかなと、このように皆さんも思っていると思います。

都市づくり部長

エスカレーターのご要望は大変多くございます。いろいろな場所でそのまま歩きながら入れるのが一番いいのかもしれないですが、今のところなかなか難しい状況です。先ほど申しましたように、交番のすぐわきにエレベーターがあるので、まずそれでおりにいただき、真っすぐ横に動いていただければ階段のわきに出てきますので、もしどうしても階段が辛いときは、そちらをご利用いただくことをお願いしたいと思います。費用面でも時間的にも、あそこをエスカレーター化するのは非常にかかってくるので、将来的にこれから改めて小田急デパートをつくりかえるですとか、駅自体を大きく変えるというタイミングがないと、なかなかあそこを動かすのは、現実問題としては厳しいと思っています。先ほど申しましたタクシー乗り場の西口については、まだ実現性の可能性も多少残っているかなというのは、我々もどこか場所がないかということで一生懸命知恵を出しながら考えていきたいと思っているので、そちらも含めながら考えさせていただければと思っています。

原町田一丁目町内会

今、西口の話が出ましたけれども、ここは本当に人通りが多くて使いやすいところです。市としてはエレベーターを考えているわけですか、エスカレーター、まだそこまで考えていないと。

都市づくり部長

市としてはエレベーターを考えています。バリアフリーといいますと、第一義的にはベビーカー、車椅子の方がご利用できるエレベーターです。まずはそれをどこかに設置できないかというところを検討させていただいております。

原町田一丁目町内会

そういう面で、西口は非常に使いやすいです。我々も道路を歩いていて、道を聞かれたときに説明しやすいのです。だから、町田駅は顔がないというのがありますが、今、JRの南口のほうに計画がありますよね。そういう面で、小田急のほうも顔としてつくってほしいです。

都市づくり部長

なかなか厳しいご質問なのですが、顔をつくるというのは大変重要な話です。冒頭に市長が申し上げたように、町田市の顔となる場所ですので、ぜ

ひそこは考えていきたいと思っておりますが、どうしても西口はタクシー乗り場があったり、バスターミナルがあったり、バスセンターがあったりということで一番人が集まる場所です。ですが、小田急の高架の下で少し明るさも足りなかったり、イメージ的に暗い感じになってしまっています。そこを何とかこれから明るくしたいと考えているところです。今日の明日というのはなかなか難しい話ですが、長期的に見ていけば、町田の駅自体もかなり老朽化してきている、小田急電鉄自体もそろそろ何とかしなければいけないと考えていると聞いています。町田市としても、この中心市街地を初め新たな交通機関であるモノレールも含め、大きく改變していく可能性のあるタイミングに来ているので、ぜひ町田の顔を意識しながら検討を進めさせていただきたいと考えています。

地区連合会会長

この話は、もう何十年も前から出ている話です。それが小田急電鉄と話が見つからないからといって、ずっと来ているのだと私は理解しています。やはり住民に納得してもらうためには、頑張ってどこか1カ所でもいいからしっかりやる。それを見せないと、いつまでたっても、何年たっても何もやらないではないかという批判が出ると思います。大変なのはみんなわかっている。市だけでできるとは思っていない。小田急と一緒にやらないとできないことは誰でも知っています。しかし、市長も最初に言いましたが、あそこの駅は町田の顔ですよ。小田急の町田駅は何十年も前にできているのであって、時代の変化で変わっていきます。それに伴って、今、小田急デパートはいろいろじっているのではないですか。あれもかなりの評判になっていますよね。結局、小田急はなくなってしまうのではないかと、小田急はだめになるのではないかという話があちこちで出ています。そこで、市がそのチャンスを生かすというか、市と頑張ってみようということを強く訴えてもらいたいと思っています。我々の地域と、町田第二地区も絡んでいるわけですから、言っていただければ、デモまではやる気はないですが、署名運動をやればどうにかなるということであればしっかりと応援させていただきますので、ぜひともいい結果を生み出してもらいたいと思います。住民も巻き込んでやっていただければさらにいいのではないかと考えているので、ぜひお願いします。部長がかわらないうちに、市長もまだ何年もあるので、その間には何か結果を出していただいて。厳しく言って済みませんが、よろしく願いいたします。

(司会) 地区連合会副会長

1のほうは私からも、2011年に町田市は小田急駅のバリアフリー化をやる計画を立てました。もう7年たっている。裏のほうに出ているバリアフリー

は小田急ができたときにつくったものです。できたというのは、カリヨン広場に交番があります。あそこのエレベーターをつくったぐらいのことで、あとはほとんど何もやっていません。ですので、この話は来年までに必ず何か結論を持ってきて発表してください。今日、皆さんがいろいろお願いしていますので、ただ一生懸命やっているではなくて、こういうことを今実際に市でもやっているという具体的なものを持ってきてくださいというのが、今、〇〇会長からのお願いだと思いますので、市長、大変でございますが、よろしくどうぞお願いいたします。

【回答】

経済観光部長

2 ご要望と同様に市も、多くの来街者が楽しく、気持ちよく、安心して買い物が楽しめる環境が必要という認識を持っております。そのため、2016年7月に町田市中心市街地活性化協議会と共同で策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」には、6つの「目指すこと」の中に「まちの魅力が向上しゆっくり過ごせる」や「通りが快適で歩いて楽しい」を掲げております。

で、現在、何をやっているのかと申しますと、1つは、道路空間を活用して、そこで休めるようなスペースができないか、検討しているところです。ところが、道路と申しますのは、人や車が移動するための空間でありまして、そこで、くつろいでしまうと、当然、通行の邪魔になります。そういう意味で、実施するには、いろいろな手続が必要となりますので、すぐというわけにはまいりませんが、頑張っております。実際にどうするのかというと、道路上での規制を特別に緩和してもらい、これを「特例道路占用区域の指定」といって、これを受けなければならないと思っています。

それから、安心して買い物が楽しめる環境づくりの1つとして、原町田中央通りへの車の進入に対する検討を行っています。午前11時から、午後7時までは、歩行者優先の時間帯となっておりますが、結構、お店に商品を搬入する車が、いますよね。まあ、それらの対策として、搬入のルールの徹底に向けた取り組みを中心市街地活性化協議会で検討しているところです。

いずれにしましても、来街者がより楽しく、気持ちよく、安心して買い物が楽しめる町となるよう、取り組んでまいります。

《質疑》

原町田四丁目第二町会

いつも疑問に思っていたのですが、市で補助している商店街のお祭りは年間幾つあるのでしょうか。勉強不足で申しわけないのですが、それぞれ予算はどのぐらいずつついているのでしょうか。

経済観光部長

商店街自体が47ありまして、そのうち44ぐらいの商店街のイベント事業に補助をしています。ここの地区でやるフェスタまちだなどは幾つかの商店街合同でのイベントになるので、それはまた別途補助をしています。

原町田四丁目第二町会

原町田大通りを規制してのお祭りは幾つありますか。

経済観光部長

フェスタまちだ、11月11日に行われますキラリ☆まちだ祭、大きくはその2つです。多分、国体のときなど、スポーツのイベントでとめるということは記憶にあります、基本的にはその2つです。

原町田四丁目第二町会

補助が出ているのが……。

経済観光部長

補助と、規制はまた別の話になりますが、もちろんフェスタは補助も出して原町田大通りもとめています。キラリのほうは、商工会議所と市とJAと。

原町田四丁目第二町会

ほかにもありますよね、9月に毎週のようにある大道芸とか。

経済観光部長

昔、最初の時代祭りは半分とめてやりました。今は文学館のほうをとめるルートになっています。

原町田四丁目第二町会

失礼しました。それは商店街に効果的にお金が落ちているのでしょうか。

経済観光部長

補助金を出して、報告の中では効果的などというところはいただいています、天候に大きく左右されたり、商店街に入っていないところのメリットも出てくるので、そういう意味では、先ほど言ったように町田市全体の顔というところでの盛り上げの意味での補助金になっているのかなと思います。

原町田四丁目第二町会

私も毎年楽しみにしていますが、なかなか盛り上がりが出ないと思っています。

るところです。今の道路の工夫というところで、トイレはいつもデパートの中を利用しますよね。何とかならないでしょうか。民間交番の後ろに小さい噴水がありますが、ああいうところにトイレを設けるとか、トイレはすごく困ると思うのです。お祭りをする会場なので、できればあの辺にもトイレを設置していただくとありがたいです。

経済観光部長

さくらまつりなどでは臨時のトイレを設置して行っているのですが、使う側からすると、デパートのトイレのほうが使いやすいというのもあって、余り直接お客さんから私たち市には聞いていないのですが、商店街でそういったことを伺っている可能性もあるので、そこはよく相談しながら対応できればと思います。

原町田四丁目第一町内会

原町田四丁目の〇〇です。

今、小池部長から抽象的な話がありましたが、具体的にここに、これを出したときも私も参加しているのですが、花と緑と休む場所、それほど大変なことではないと思います。特に休む場所に関しては、かつて商店街でも、桜美林に山口先生がいたときに、先生がカリヨン広場で生徒さんを使って実験的な商売をなさっていたのですが、70mに1つ休む場所をつくるだけで滞在時間が伸びるのです。滞在時間と売り上げは正比例します。だから、少し休めるような場所が点在して、ベンチ1つでも、パラソル1個でもいいのですという話でした。あと、花と緑もきれいな状態でないのなら要らないと思いますが、きれいな状態ならやはり和みます。でも、残念ながらこれにはとてもお金がかかるのです。その辺のところを永続的に何かきれいに町を保つために花と緑、それと休憩所のことを少し突っ込んでお話しいただくと助かります。よろしくお願いします。

経済観光部長

お話がありましたように70m間隔であれば回遊性も上がります。今、明らかに休める場所はカリヨン広場がありまして、ぼっぼ町田も以前改修して大分よくなっていると思います。それからターミナルの市民広場。そうすると、その間のところでまず欲しいと思うのは、ちょうど原町田大通りのところです。あれは、イベントではなくて、土日、そういったくつろげるような空間で、実際にそれをまちづくりの中で行っている札幌の先進の事例を聞いていますので、今、札幌の成功事例を視野に入れて、先ほど申し上げたような特例道路の占用区域の指定で、そこにくつろげるような空間をつくっていきたいと思っています。当然、花や緑があったらいいなど。ただ、お金もないと

なかなか続きませんので、そういった中で広告物の収入ですとかを花の管理に充てられるような仕組みまで含めて今検討しています。

地区連合会会長

いつごろできるのですか。

経済観光部長

道路占用区域の指定をやるためには、まず都市再生整備計画を策定して、そこに位置づけなければいけない。さらに道路の管理者、あとは警察と十分協議していかなければいけないので、今の予定では2019年に都市再生整備計画をつくる予定で検討を進めています。ですから、来年度になりますが、その中で特例占用区域を指定できればと思っています。

原町田四丁目第一町内会

たびたび食い下がって済みません、〇〇です。

今、部長からご説明がありましたが、そういう広い空間でなくても、例えば具体的に言うとターミナルロードのところにも一番街から廃棄処分になったベンチを引き取って、直して設置して、もともとあったベンチと3カ所ほど置いてあります。それでも少し座って休める。原町田大通りは確かに一番使いやすいのは使いやすいかもしれませんが、今、四丁目第二町会の方がおっしゃるとおり、あそこでもとまってしまうような設置の仕方をするのであれば、そうではなくて商店街の中にぽつんぽつんと置くような場所があるので、積極的にどこか活用、それこそ神蔵部長はご専門でしょうから、公開空地、減免措置しているわけですから、ちょっと頼みに行って、そこにフラワーポットを1個置くだけでも全然違うと思います。現に今置いてありますが、そういうところもぜひご検討いただければと思います。よろしくお願いします。

経済観光部長

今のご提案の趣旨はよくわかります。ただ、一方でなかなか公開空地がないので、またそれを生み出すような仕組みも少し考えていかなければいけないのと、あと、今、いかにもあいているように見えて、実は位置指定道路であったり、いろいろ複雑な要件はありますが、おっしゃられるとおり、大きい休む場としてはそういったところを考えておいて、ほっとするような雰囲気は大事なのかと思いますので、また地元の皆さんと一緒に考えて、協力いただくところはお願いすると思うので、ぜひよろしくお願いします。

都市づくり部長

今、中心市街地活性化協議会のほうでいろいろお話をさせていただいてい

ます。セットバックをしていただいて、そこをどう活用していくかというところで、皆さんで足並みをそろえて、何とか下がってうまくそういうにぎわいをつくっていきましょう、滞留空間をつくっていきましょうという話もあわせてさせていただいていますので、ぜひ商店街の皆様、ビル所有の皆様にご協力をいただきながら、そういう空間をつくっていただく。そこのお店の敷地としてテーブルを出されるのもいいですが、多くの方がご利用できるベンチであったり、パラソルを広げて、少しお茶が飲めるなど、そういった形のものに使っていただきたいということも我々も望んでいます。ぜひこれから中活協の方も通しましていろいろと協議を進めさせていただければと思っていますので、よろしくお祈りします。

町田市長

中央の商店街、中央通りは、多分5～6年かかるかもしれないのですが、電柱を外して電線を入れようということ今入っています。入ったらすぐできるわけではないのですが、地上に置かなければいけないので、それをどこに置くかという議論もあって、もっと言うと、あそこは掘ってみないと何が入っているかわからない通りです。何が入っているかの図面がありません。結構大変なのですぐにはできないのですが、でも、中央については、一番大きいのは電線をとってしまうことで、そこそこにお店が入っているし、どうかすればお金を出す人もいるでしょうから、私の感じでは、あそこは狭いから、電柱がなくなっても照明棟みたいなものがあるので、あそこにハンギングバスケットみたいなものをやるのが一番、スペース的には空の上ですから、水やりは下から自動の給水でやります。あれはできるのではないかと思います。

私がパシフィコ横浜とかインターコンチネンタルと一緒に仕事をしたときに、あそこでみなとみらい地区の協議会をずっとやっていました。あちらは大きな会社でお金がたくさんあるからやれたのですが、7～8mおきにずっと両側にやっていました。自分で言って自分の首を締めそうですが、町田の顔で中心市街地ですから、中央は上に電線がなくなると一緒にハンギングのバスケットがずらっと並んでいるというのは、かなり様子が変わると思います。それだけだとまた難しいので、原町田大通りにもハンギングを入れて、引っ張ってしまうというか、商店街の中へ同じようにやっていくと一体感が出るので、原町田大通りに来た人がハンギングバスケットにつられて商店街に入るような全体的なデザインをやったほうがいいかと思います。

問題は維持管理費です。投資は市が頑張るのですが、維持管理まで市がやるのは厳しいので、どうやって商店会なり何なりが、この場合は大型の商業施設もそれなりに賛成するでしょうから、中活協がやるのがいいのかよくわかりませんが、そういう大きな組織で維持管理を考えていただければ

できるかなという感じはしています。原町田大通りも電柱がないわけですから、でも、何か空がすかすかしています。木をたくさん植えようとする、町田警察署が文句を言ってできませんでした。標識だとかいろいろなものが見えなくなるといって木を植えるのはノーだと。今回ご要望にあります緑も、原町田大通りのときはなかなかそこがうまくできなかつたのですが、ハンギングバスケットはそれほど大きな邪魔をするものではないので、警察もノーと言わないのではないかと思います。中央通りの電柱化がうまくいきそうになったら一緒に計画するといいいのではないかと思います。このようなことを言ったのは今日が初めてなのでこの先になりますが、形としてはいいのかと思っています。

原町田五丁目町内会

今、市長から電線の地中化の話もありましたが、原町田大通りはあれができたときに地中化されたのですが、一緒にできた浄運寺の裏からサウスフロントの裏の道は、当然できるときに一緒につくって地中化になるのかと思ったら、前の市長の時代ですが、あそこはなりませんと言われました。あれもこの辺では一番新しいところですから、あのころの時代から言えば地中化の検討をされて当然の時代ではなかったかと思えますから、そこも整備するといいいと思いますし、以前に、この文学館の前の通りも歩道整備をして、地中化をしてという説明会もあつたり、いろいろ地域で要望もしましたが、その辺の進みぐあいはどうなっているのか、ここのところ頓挫しているのかなという気がしますので。

それからもう1つ、商店街としては少し外れですが、原町田三丁目の商工会議所の前、レンブラントのあたりは歩道が整備されて、にぎやかさは小田急から離れているので人通りもいまいちなのですが、あそこの歩道の部分は、実際には民地です。皆さんあそこの大通りに面している人が道路として提供していますが、それもなかなか整備の維持費だとか、補助もしていろいろあるのですが、あと税金の問題もいろいろ考慮していただいていると思いますが、いつまでも公共のものが民地のままでいいのかということも地域の中では検討課題になっているみたいですから、検討していただいたらいいかなと思います。

原町田四丁目第一町内会

今のモール化の話ですが、当商店街のところも駅が移動したときにモール化をずっとしたのですが、プラザビルの前だけ、2本だけ電柱が残ってしまっています。ぜひその辺も、中央通りもあれですが、そこがあと2本なくなるとアベニューからずっとモール化をできるので、それも頭の隅に入れていただけるとありがたいです。よろしくお願いします。

また、今わくわくするような話を聞かせていただいたので、当商店街もそのときからずっとハンギングなのですが、ハンギングが大きいですね。直径70cm近くあるのですが、7個ほど置いてノウハウもあるので、何でも協力しますので、ぜひ花と緑をよろしく願います。ありがとうございました。

原町田四丁目第一町内会

市長は昔、横浜にいらっしゃいましたので、私は大きなことを言うのですが、横浜から中山まで地下鉄が来ています。あの地下鉄を町田まで引っ張ってもらえませんか。私は町田を新宿、渋谷にしたいのです。今できえも大型店が10個あります。大勢のテナントが入って、今、商いができているわけですが、その地下鉄を持ってきてもらいたい。地下鉄を橋本までつないでもらいたい。ということは、橋本はリニアモーターカーの最初の駅です。そういうところで、お客様が乗りやすいように、また、町田に集まりやすいように、横浜のお客様を町田に引っ張ってきたい。私はそのように思います。地下鉄はあそこまで来ているので、町田まで引っ張ることは、できないことはないと思います。

(司会) 地区連合会副会長

非常にいいお話です。これは、今ここで市長に回答をもらっても、市長がこうだよという話にはできないと思うので、後で市長の報告会のお話をしていただくことにします。

【回答】

都市づくり部長

3 芹ヶ谷公園では、まちだ〇ごと大作戦の事業として、花見の名所となるように地元の方から御提案をいただき、桜をふやす取り組みを進めております。

現在、桜は、多目的広場の北側に16本を並木状に植栽しており、今回のまちだ〇ごと大作戦の事業で、桜のない多目的広場南側に約10m間隔で新たに5本を植樹する予定です。

なお、植樹は、2019年3月中旬を予定しており、その準備として2019年1月中旬から2月にかけて、苗木が良好に生育するために必要な日光を確保する作業として、南側のり面の樹木の剪定、伐採を予定しております。

次にトイレについてですが、今年度から芹ヶ谷公園整備工事に着手いたします。公園北側の都営住宅跡地を中心として、グラウンドや多目的広場、防災施設を兼ねたパーゴラ等の施設整備、そして、整備範囲のほぼ中央付近にトイレを設置いたします。

トイレは、男性用・女性用・みんなのトイレ・倉庫が1つの建物になった

ものです。2020年4月に開園いたしますので、一段高いところですが、ぜひご利用ください。

さらに、公園内の既存のトイレについても、リニューアルを進めてまいります。

まず、公園のトンネルの奥・小田急線側のトイレにつきましては、今年度中に和式便器を洋式便器に改修し、建物の内装・外装のリフォームを行います。

そして、手前の多目的広場のトイレにつきましては、新たに作りかえることを視野に入れながら、検討を進めております。できるだけ早期に実現するように努めてまいります。

《質疑》

(司会) 地区連合会副会長

1つだけ先に私から質問させていただきます。芹ヶ谷公園の一番低いところから上の部分を開発しています。その高さの段差はどのぐらいありますか。

都市づくり部長

20m少しだと思います。

(司会) 地区連合会副会長

普通に考えて、芹ヶ谷公園に遊びに来た人が、あれを上まで上がってトイレを使いますか。上にいる人だったら下のほうにおりてきて、トイレがあるから行こうという考えをしますが、上にトイレがあつて、公園は下が主なのに、トイレがあるからそこまで行ってこいというのと、今の版画美術館の中のトイレを使えと同じようなことではないのですか。

都市づくり部長

現在の奥のトイレについては今年度リニューアルをさせていただいて、構造自体はいじらないですが、内外装を変えて整備しますので、まずそこはきれいになってくるかと思っています。それから、多目的トイレについては、現在のトイレが使えないわけではないですが、古いことと、暗いこと、見た目余りきれいとは言いがたい部分があるのでなかなか使いづらい部分があることは重々承知しています。今考えているのは、新しいものをつくって、あれを撤去しますと、奥のリニューアルとは違って、もう少し規模を大きくして、多くの方が訪れていただけることを想定して、トイレの数を1つでもふやしながらもう少し大きな建物に変えていきたいと考えています。それには、これから測量と設計と予算の話も含めてお時間をいただき進めさせていただ

きたいと思っています。そう遠い話ではないと、できるだけ早期に実現できるように私どもも努めてまいりたいと考えています。

(司会) 地区連合会副会長

いつごろまでにやるのですか、5年後ですか、3年後ですか。

都市づくり部長

市長の任期中には頑張ります。

原町田五丁目町内会

先日は、市長にも時代祭りに、芹ヶ谷公園の多目的広場の流鏝馬にお越しいただいてありがとうございました。あのときも1日中、20mぐらいの列が、男性も女性も並んでいたのをごらんになっていると思うので、よろしく願いしたいのと、芹ヶ谷公園の都営住宅の跡地の工事に入りましたね。あれの説明会がこの間もあったのですが、その前にもう1回あったときに、計画の説明ですね、この間は工事に入りますよという説明でしたが、そのときにトイレも下のほうを整備しますと言っていたのですが、それは一番最後になりますという説明でした。そうすると3年、もっと先かなと。全部終わった一番最後にトイレと。一番最初にトイレをやってくれないのかなという気持ちがあったのですが、トイレを整備しますという話は喜んで行ったら一番最後という話でしたが、それは、そういうことではなくて前倒しでやっていくというように受け取っていいのですか。

都市づくり部長

説明会の時点ではそういう第1次整備が都営住宅跡地で、第2次整備というスタンスで順番に考えていくと、上の工事が終わった後、順番で考えるとそのぐらいのスケジュールになりますというお答えをさせていただいたと思うのですが、ここ最近のところで、この〇ごとの話ですとか、いろいろな状況が変わってきています。ですので、今日私も申し上げただけ早期にというところでいけば、前倒しして、市長の任期中とは言わず、もう少し早目にできるように努めてまいりたいと思っています。

原町田三丁目町内会

余り厳しく言うなと言われていたので穏やかにいきたいと思うのですが、最初に、トイレの話で皆さんが笑われているところで、私は、はっきり言って、真摯な態度ではないと思います。トイレはすばらしく大事で、東北のある工場で、雅子様がいらっしゃるので3000万円で改善したらしいです。それは、雅子様だけではなくて女性社員がその後、気持ちよくトイレを使うため

に改善したと。そういう面で、私は、あのトイレは町田の顔だと思います。あれが改善できないというのは、申しわけないけれども、市の皆さんは気合いが入っていないかなど。平林部長が最初にしっかりお聞きするということが、しっかり聞くということは改善することであって、ふだんはそういう言葉は使わないほうがいいと思う。しっかりお聞きするのは即座に改善するので、私は、5W1Hで言わせてもらおうと、いつまでにするのか。検討するとか、そういう言葉は、今の時代は要らないと思うので、いつまでにするのかということはぜひ聞きたいと思います。

地区連合会会長

上の工事を最初にやるという、あの場所の工事はいつからの計画だったのですか。20年ぐらい前の計画、10年ぐらい前の計画、ここ最近の計画でぱつと始まったのですよね。多目的広場の工場の計画は何年前。あの多目的広場をつくったときに、あのトイレをつくったのでしょうか。だけれども、現にあの広場は、〇〇会長がおっしゃるようないろいろな大きなイベントを次から次へとやっているわけではないですか。それで今もおっしゃったように20mも30mも並んで、大人なら我慢できるかもしれないけれども、お子さんや老人の方は待ってられないよ。男の人なら森の中へ入ってできるかもしれないけれども、今はそんなことはできないではないですか。だったら、お金が大変なのはわかるけれども、これは10年以上前からトイレをやってくれと、ずっとこの地域は言ってきました。今の市長よりもっと前の人たちにもそういう話をしてきているわけ。だから、上が最初で、あそこが一番最後だではなくて、今、神蔵部長がおっしゃってくれたように、なるべく早くやるようにしますよということでしたら、1番でというのではなくて同時にやってもらいたい。上をやるのだったら、同じ業者をお願いするか、できないかわからないけれども、同じ時期にやってもらえれば、この次のさくらまつりや時代祭りに間に合っていくのではないかと思います。その辺を、今の〇〇さんの注文のとおり、いつにはできる、いつなら取りかかれるという返事をできればいただきたいと思います。よろしくお願いします。

都市づくり部長

トイレの話は大変失礼いたしました。おわび申し上げます。あそこは小さなお子さん、お母様方、女性の方が多くご利用されています。我々も、そういった女性が使いやすいという視点は当然持たなくてはいけないと認識しています。ですので、今度、多目的トイレをつくる際には、きちんと女性の方が使いやすいトイレ、当然みんなのトイレという、いろいろな障がいを持った方でも使えるトイレは設置しますし、男性用のトイレもそれに合わせてつくることは考えています。正直な話、我々も予算の裏づけがない中で、これ

を明確にいつまでにやると言うのは非常に苦しいところです。ですが、私の気持ちとしては、当然まずあそこのトイレは改修すべきだという認識に立っていますので、上は上で2016年に計画を立てて、都営住宅の跡地の整備を今年から着手させていただいているところですが、それとは別に、トイレの整備については別途進めていきたいと思っています。どうやって最短でつくれるかを今一生懸命、我々都市づくり部だけではなくて、いろいろな部署と連携をしながら進めさせていただいているところです。何から何まできちんと決まらないと話せないというのはなかなかあれですが、ここ2～3年の中では実現できるように努めてまいりたいと思っています。

町田市長

町田市はそれほどお金がないので、公園の整備は3つの公園を重点にしています。1つは野津田公園、もう1つは薬師池公園、もう1つは芹ヶ谷公園、この3つの公園にだけはお金をかけましょうと。もっと言うと、ほかはやりませんと言ってしまっています。例えば、皆さんご存じかと思いますが、忠生公園という大きな公園があります。あそこは木製の大きな橋があって、下におりるところがありますが、壊れてしまいました。普通は建てかえますよね。お金がないので、壊れたものはそのまま撤去して、一銭もお金をかけていません。お金がないから芹ヶ谷公園と野津田公園と薬師池公園だけしかやりませんと宣言している。ほかのところの人にはいつもそう言っています。では、芹ヶ谷公園は何をやっているかというと、やはり残っているのはトイレです。

トイレについては、最初に小学校、中学校のトイレを、去年度で終わっています。優先してやりましょうということで、これもお金がない中で、防音工事を行う町田第六小学校と改築工事を行う町田第一中学校のトイレ以外は全部やりかえました。もう終わりましたので、そういう意味では、次は公園のトイレかと思っています。ただし、これは順番が後先になっているのは、先ほどの野津田と薬師池も目玉ですが、芹ヶ谷公園は、実は商店街や中心街をぐるぐる回ってもらうところです。だから、ほかの公園とは違うので、例は悪いのですが、横浜では、私は財政局にいたのでよく知っているのですが、横浜市も余りお金がなかったのでどうしたかということ、観光に人が来るころだけお金をかけて、あとは知らんぷりするという方針を立てました。文句は出ましたが、山下公園や港の見える丘公園にだけお金をかけた。もうしようがないと。我が国の内外から来る山下公園はきれいにしておこうとって、ほかの郊外の公園は観光客が行かないだろうから金をかけないという路線で、その路線を今私はやっていて、3カ所しかお金をかけないようにやっています。芹ヶ谷公園は中心部に近いところで、位置づけは横浜で言う山下公園です。でも、その位置づけの割にはあのトイレですから違うではないかと

ということだと思いますので、先ほど説明会で第2次でと言ったのは、神蔵部長は、第2次の計画は第2次でやるけれども、トイレだけは抜き出して前倒しでやろうと考えているので、何とか早くやりたいと思っています。

(司会) 地区連合会副会長

市長、素晴らしいお答えをいただきましてありがとうございます。一日も早くあのトイレが、女性の方が来て、ああ、きれいなトイレになったと言われるように、女性の方があそこへ来ると、毎年聞いていますが、この芹ヶ谷公園はトイレが汚い、子どもを連れてきてもおむつを変えるところがない、町田市が一番中心街でいろいろなお客さんと呼ぶところにトイレが汚い、必ずそれを言います。少したってから、少し桜が少ないねというぐらいでトイレが断トツに言われますので、その辺は、部長、またよろしく願いいたします。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

先ほど〇〇さんから電車の話がありました。今、モノレールを頑張っていていますが、あれも今を去ること18年前に当時の運輸政策審議会に一生懸命町田市も東京都もお願いしたのですが、考えましようという路線になったのです。当時の位置づけはB。Aはすぐに工事しますよ、Bは考えますよと。18年前に考えますよ路線でした。そのときにすぐやりましようという路線だったのが立川から瑞穂町へ行く武蔵村山を通る路線、既にA路線に近い路線でした。今回はあっちもこっちも一緒に整備しようというところまで来たのですが、鉄道計画は大体15年間隔です。先ほど、20年ぐらい前に審議会があって、つい一昨年審議会があって、その間15年あいています。巷では、次の鉄道整備の審議会は2030年だろうと言われていています。2030年に何を検討するかというと、その先15年以内にやるかどうかを検討する。そうすると次の鉄道計画は2045年ぐらいの話です。現在ある鉄道計画でさえでき上がるのは2030年です。現在ないものは、早くても2045年、場合によっては2050年ぐらいの話なのです。それぐらい鉄道はリードタイムが長いです。今の中山の地下鉄の話は、実は新百合ヶ丘に行く計画があります。モノレール延伸より、もしかしたら早くできるかもしれません。

逆の話ですが、新百合ヶ丘のお客さんは、ちょっとその辺で酒を飲もうか、遊ぼうかということ、新宿は少し遠いので町田に来ます。新百合ヶ丘にそんなに大きな商店街や商業施設があるわけではないので。私はスーパーや映画館があるので行きますが、それ以外は町田に来ます。これが今度は新百合ヶ丘から横浜に出られるようになってしまいます。お客さんが横浜の北のほうのニュータウンの商店街にとられてしまうという心配をするぐらいに実現性が

高いです。中山から新百合ヶ丘に出してしまうと、新横浜に出ていくということがありますので、こちらには来ないということが結論です。

今度、7日水曜日に生涯学習センターの7階で観光まちづくりシンポジウムをやるので、お時間がある方はおいでいただければ、夜の時間帯ですからお願いをしたいと思います。商店街のほうは、1日からわくわくスタンプラリー、そのときにも声をかけていただいて、3軒回れば何か当たるかもしれないから、このときにもそういう案内をロコミでもやっていただければいいかなと思います。私もパネリストになっているのですが、カイル・カードさんがおもしろそうな人なので、この人の話はいいと思っています。あとは首都大学東京の先生と、オンデザインパートナーズというおもしろそうな人が来ます。この方は観光まちづくり推進委員会の委員長です。ぜひお出かけください。

それから、ふるさと納税、たくさん税金を納めている人がいる場所で言うと効果的なのですが、ふるさと納税は新しいものが幾つかできましたということで、今回、真ん中に4つばかり新しい商品の紹介をしております。そのほかに、この間やりました、7ページ、居合いの武士道体験というものがある、2万円コースと5万円コースと幾つかあるのですが、申し込むと剣術の練習をするという新しい返礼サービスをつくりました。

それと、16ページ、子ども食堂、児童扶養手当をもらっている家が対象になりますが、その家へ食事を届けてご家庭で相談対応をするサービスを来年から始めます。社会福祉協議会にやってもらうことになりました。

その前の13ページに野津田球場のスタンド増設というプロジェクトがありまして、今、設計作業中です。2019年度予算にスタンドの建設費、工事費をのせる予定です。この絵で言うと、バックスタンド側に屋根をつけてよということになっています。四十何億かかるのですが、ここにも寄附をお願いしたいと思います。大型スクリーンをつくったのですが、そのときも2000万円集めてつくりましたので今回もお願いしたいということで、幾つか新しいものを言いました。

最後に、このふるさと納税は今どうなっているかが、3ページにグラフが出ています。グラフを見ていただきますと、寄附金の控除、つまり市の税金に入るべきところが入ってこなかった分が黄色です。入ってきた寄附は、オーリーブグリーン、2018年度を見ていただくと6000万円。グラフの3本ある一番下。6000万円入ってきて6億8000万円出ていく。差し引き6億2000万円の税金が減っている。皆さんが他の自治体に寄附をしてお肉などをゲットしたりしています。周りではほかの市、町、村へお肉やお魚をやろうと思ったら、ぜひ町田に税金を納めていただきたいという、ふるさと納税に寄附いただければ、当然その分、2000円を除いて税額控除になるので、よろしく願います。

「広報まちだ」の配布場所を書いているので見てください。ピンクのチラシです。もう新聞をとっていない家が3割ぐらいあります。とらない人がだんだんふえてきまして、どこへ行ったら広報が手に入るかというところ、この紙では右上のほうに、例えば、町田市民文学館ことばらんどなど、置いてある場所が書いてあるので、もちろん駅にはありますが、それ以外ではこういうところに置いてあるので、「広報まちだ」が手に入らないよという人のお声がかかりましたら、この紙の場所を紹介してください。

もう1つ、この紙の一番下に聞き取りにくいという防災行政無線の場所があります。なぜか。これは0800-800-5181にダイヤルをしていただくと電話でクリアにしっかり聞こえます。外で言っているのが聞こえないときは、ここに電話してください。フリーダイヤルですから電話代はかかりません。この番号を切りとって電話の近くに張っていただくのが一番いいかなと思います。電話のほうが早いです。

ということで、幾つかご案内をしました。

最後に、この資料の説明をやります。町田市課別・事業別行政評価シートダイジェストです。今年、29年度決算ですので、もうわかっているよという方もいらっしゃると思いますが、一応説明をさせていただきます。4、5ページの学童保育から説明します。学童保育は、今議論をしているのは4年生です。3年まではほとんど全員入れますが、4年生は今やっていません。障がいがある人は6年生までやっていますが、それ以外は3年生までです。4年生をやりたいのですが、実はやれない学校が幾つかあります。町一小はその典型的なのですが、学童の部屋が足りなくなってしまうんです。町一小は学童がどんどんふえているので追いつかないです。何年か前に3棟目を建てたのかな。町一小はやらないよといって、ほかだけやるのもなかなか難しいので、今苦慮しているところです。やる学校とやらない学校があるのは説明がしづらいと思います。

学童保育については、4ページを見ていただくとわかるのですが、事業の成果には人数が書いてあります。3382、3613、3752とあって、18年度は多分4000いっていると思うのです。こうやってどんどんふえていますが、3年生まではほとんど全員が入れています。実は町田市はそうなのだけれども、北多摩のほうは学童保育が入れなくて待機児童が結構います。学童の待機児童問題があります。学童に入れないので、保育園に何とか入って卒業したのだけれども、今度は小学校がだめで仕事をやめるという人が出ています。北多摩では小1の壁と言っているのですが、そういうパートをやめないと子どもを預ける場所がない。特に小1、小2は家に帰って遊ばせなさいというより、どこかに預かってもらわないといけないということなので、東京でも全部入るのが当たり前ではありません。

それは余談ですけど、これだけどんどんふえています。幾らかかるか

というのが下の5ページです。四角い箱がありまして、入会児童1人当たりコスト、年間36.3万円（月間3万円）。つまり、1人を預かると月3万円かかります。幾ら親御さんからいただいているかということ、この青いところです。緑が市の税金、赤が都、国の税金、青はお父さん、お母さんです。6万円、月3万円かかるところを5000円いただいてやっているという財源構成、こういう仕組みになっています。

もうちょっとお金がかかるのがありまして、8、9ページです。民間等保育所運営事業です。今現在、保育所は、今年の4月で146人の待機児童です。そのうちの143人が0、1、2歳です。146分の143人が低年齢児。それだけどんどんふえているのですが、実際に入所児童1人当たりコストは幾らかかっているかということ、0歳から5歳までの平均で1年間に、9ページの下の方にあるとおり184万円かかります。月に15万円かかります。でも、0、1、2はこれの倍近くかかります。0歳だと300万円ぐらいかかるので、多分200万円から250万円が1年間にかかるコストです。それをどうやって工面しているかということ、厚生労働省の国庫の負担金と東京都の支出金で半分です。残りの3分の2を町田市が出しています。残りを保育料、お父さん、お母さんに出していただいているのが13%ということで、月に2万円です。月に15万円かかるところを2万円です。0、1、2になると多分、月に20万円を超えてしまうのですが、それでも3万円ぐらいです。ですから、要はこの平均でいっても月に2万円をいただいて、残りの13万円は税金だということです。逆に言うと、保育についてはこれぐらい税金でやるものだというのが今の認識になっています。何でそうかということ、その年代は意外に収入が少ないです。30代ですからそれほどたくさん払えない。今平均2万円で、少し足りないから4万円出してもらって倍にしようと思ったら暴動になってしまっても要求できないので、このようになっています。

ただ、実際には毎年200人ぐらいずつ保育している子どもさんがふえています。100人ふえるということは、市の税金で言ってもそうですが、183万円が100倍だと2億円ぐらい。200人、300人ふやしていますから4億、5億が毎年積み重なって、今保育料がふえています。ただ、それでもやはり待機児童0を目指してどんどんふやしていますので、ここの社会保障の保育料のところはたくさん財政の需要が逼迫していく状況になっています。

お金の話ばかりしますが、町田市の税金は今690億円ぐらいです。2007年は700億円でした。10年前より今のほうが少ないのです。保育にかけているお金も障がいも、高齢者医療も介護保険もうなぎのぼりに上がっていますが、税金は減っています。どうしてか。1つは、地方交付税といって国から来るお金に頼っています。昔は、地方交付税はもらっていませんでした。今はもらっています。それから、足りなくなった分の一部は消費税が5から8になるときに少しふえたので、そのお金で右肩上がりの社会保障増を補っているの

が現状です。

来年10月から消費税が8から10になります。レジを変えなければならないので大変です。軽減税率の分と軽減がないものを8と10で分けたレジを打たなければいけないので面倒くさいです。それでも税収はふえますが、そこでどれだけ町田市に消費税の動きが来るのかはまだわからないので少し心配ではあります。市の支出のほうは2%分、必ず支出はふえますので、そこは厳しいかなと思っています。

ラグビーのワールドカップ2019、ナミビアというアフリカの国がありまして、町田でキャンプをすることが決まりました。それから、オリンピック、パラリンピックでは、今、南アフリカと中国とインドネシアに声をかけていて、パラバドミントンはインドネシアが来ます。それから、オリンピックの空手でインドネシアが来ます。あとお願いしているのは南アフリカと中国です。どちらもやりますと言わないので、よくわからない。できれば南アフリカのセブンズという7人制ラグビーに来ていただきたいと思っています。この前まで南アフリカのセブンズラグビーのコーチをしていた人が、今キャノンのコーチで来ているので、その人に自分の国のセブンズをうちへ連れてきてくれと言っています。と今一生懸命キャンプ地の誘致活動をしています。

それから、清掃工場ですが、2017年7月から旧管理棟、旧花の家の解体工事及び造成工事を行い、今年8月から施設の建築工事に着手しました。現在は、工場棟の杭工事を行っており、あと3年で完成します。工事の契約金額は約300億円で、町田市役所の庁舎は150億円でしたので、あれ2つ分です。何でそれほど高いのかと言われますが、もう高どまりして、オリンピックの工事の大変なときに契約をしているのでうんと高くなっています。もう1つは、清掃工場そのものがみんな建てかえ時期にきています。高度成長時代に、当時で言う近代的な清掃工場に建てかえたのです。それがもう30年、40年たって建てかえなければいけないのですが、清掃工場を建設できる会社は日本全国でそう多くはありません。寡占状態。どうなっているのかというと、うちは2カ所工事をやっていて3つ目を受けられない。うちは3つやっていて4つ目を受けられないと、みんなどこに聞いてもそう言います。さらにバイオガス化施設を施工できる会社は限られているため、1社入札で株式会社タクマと契約を締結したのですが、99.95%という非常に高い落札率での契約となりました。要するに、100%こちらの出した金額そのものでやってもらえないので、約300億円までいってしまいました。でも、ほかの都市もみんな同じことです。そこまで出さないとやってもらえない。受けてもらえない。もう少し言うと、現場の監督と技術管理者、工事管理者など、きちんと常駐していないと工事は受けられません。そんなにたくさんの人材をいつも雇用しているわけではないから、みんなこの会社も受けられないというのはそういうことです。というわけで、2022年1月からスタート、3年後の冬には

稼働する予定になっています。

特別養護老人ホームにつきましては、今年9月に木曾山崎団地の中に悠々会がグランハート悠々園という特養をつくりました。特養の整備は、町田市内ではこれが最後になります。今から9年前に調べたところでは、介護度3、4、5の人が施設に申し込んで入るまでに1年、逆に言うと、1年以内に入った人が大体45%です。半分近い人は1年以内に入れました。去年調べたら、申し込んで1年以内の人が約90%です。もう約9割の人は半年、1年のうちに入所できるようになりました。特養をたくさんつくってきたということもあるのですが、特養の運営費の半分は介護保険の皆さんの保険料でやっていますから、ふえていってしまうことになります。介護保険の赤字補填がふえていくのも、それだけ特養を整備していると、やはりそこにお金がかかります。いずれにしても約9割の人は半年、1年で入れるようになりました。1人部屋で月に大体16万円ぐらいだと思います。部屋代と介護サービスとご飯代。3人部屋だと、多分12~13万円です。今は本当にほかの都市ではこんなことはないのです。今までも中央線沿線の人たちは青梅とかあきる野などに行っていたのです。うちは町田市内ですから全然環境が違います。町田に住んでいる人は普通に入れると思っているけれども、ほかの市に行ったらとんでもない話で、23区の場合は当然北関東か静岡まで行かないと入れない状況になっているので、状況としてはまあまあ何とかなっているのかなと思っています。

最後に、町田第一中学校改築工事に伴って仮設校舎を建てる工事が始まりました。校庭は本町田の後田へマイクロバスで行って授業をやることになりました。それから部活動は旧消防署、この間、行ってみたら解体が終わって瓦れきを片づけていましたから、あそこを来年の夏までに全部グラウンドとして整備して、一部の部活動の運動はあそこも利用します。授業は後田でやることになりましたので何とかなるかと思っています。ただ、町田市の建てかえ事業計画では、ついに50億円という大台を超えたすごいお金です。鶴川第一小学校が30億円を超えて大変だと言っていたのですが、今度は50億円になってしまいました。でも、一中が最後、鶴川第一小学校は今年体育館を行って2019年度に外構と校庭整地を行います。あとの学校は耐震が終わっていますから補修だけです。その後はもう建てかえをしないと決めていますので、我慢をしていただいています。一中はもう少しお待ちください。

《質疑》

原町田五丁目町内会

先ほど、鉄道計画は15年間隔なので、次は2030年、その先、15年以内にいるろいろ実際に工事が始まるということでお伺いしましたが、これはモノレールの話ではないのですね。

町田市長

中山から鉄道を引くという話だったので、それはずっと先になりますよと言いました。

原町田五丁目町内会

モノレールは今から10年ぐらいで土地を確保して、それから5年ぐらいで建築、2032年に開業を目標としていると聞いたのですが、それは間違いないですね。先ほど、町田市中心市街地を緑、植物、休憩所などをつくって、町のイメージを決めるエリアですから景観を大切にしたいという意見がありました。それから芹ヶ谷公園に関しても市民の憩いの場ですから桜を植えたりとか、景観のことを気にしていच्छる方が多いと思いますが、モノレールは全ての景観を大きく損ないます。ああいう形状のものだから、それは仕方のないことです。町田の顔と言うべき駅周辺にああいうものを導入して駅をつくり、引き込み線をつくりということは、今、エイサーなどで広い通りでお祭りがありますが、あの辺にできるわけですから、もちろんお祭りもできなくなりますし、どうしても道路にふたができたような形状になるわけです。

それで、この辺は原町田の方も来ておられるかもしれませんが、今のルートでいきますと、まさに住宅地の真ん中を貫くことになります。立ち退きの軒数が約200戸あるとか、モノレールは高いところを走るために5mから10mの橋脚を、このルートのままだとすると610基建てるわけです。皆さん、想像できますか。しかも私たちが住んでいる家のすぐ真ん前にそのような見上げるようなものができて快適に暮らせると思いませんか。モノレールは災害にもとても弱いのです。これから大地震が来て、あれがごろりと住宅地に倒れてこないとは限りませんし、高いところを走っていますから異常気象のときに強風をととても受けやすいです。そういう意味での安全性も大変な問題です。

つくるに際しましても、とても資金がかかります。それはそうですよね、駅は高いところにできますから、当然エスカレーター、エレベーターなどの施設が必要です。それをちゃんと維持していくためには、もちろん維持費が物すごくかかるわけです。建設費も1700億を今予定されていますね。1700億というのは、そもそもモノレールが計画されたのは今から40年も前のことです。いまだにできていませんよね。その40年の間にはもっと新しい交通システムができています。高速バスシステムですとか次世代型路面電車とかBRTとかLRTなどができているのです。それなのに、なぜいつまでもモノレール、もう時代おくれです。環境にすごく影響が大きいですから、そんなものにどうしてこだわっているのか。

しかも町田市はいきなりモノレール推進で始まりましたね。これは大変お

かしなことです。今の近代的な市政は、まちづくりというものは、ちゃんと住民を同じ場所に集めて、市民を交えて討議して決めるものです。それをいきなりモノレールだと言って、しかも宣伝の仕方が大変おかしいと思います。モノレールの欠点は一切知らせません。ただ夢のような、快適なすばらしい乗り物だ、早いという、いいことだけを宣伝して、400万円もかけていろいろなイベントをやっています。子どもまで巻き込んでいますが、子どもがモノレールの実態を理解できますか。そういう雰囲気だけで子どもを巻き込んでいろいろなイベントをやっています。都に町田市はこれだけ本気ですよとアピールしているのですが、署名も10万集めたと言いますが、それだって署名用紙にモノレールの欠点は1つもないです。それでいて、ただ雰囲気だけで集めたような10万票は何の意味があるのですか。私が東京都に問い合わせましたら、担当の部局の人は、そんなアピールには惑わされずに、ちゃんともっとシビアに考えて検討するから、そういうことはやっても無駄ですとはっきり言っていました。そういう無駄なことに町田市は400万円かけているのです。これからは、もうそういうことをするのはやめていただきたいと思います。税金の無駄遣いです。

もっと市民に実際の問題が、こういう問題があるということをちゃんと知らせるべきだと思います。モノレールありきで進むのは反対です。

(司会) 地区連合会副会長

ありがとうございます。皆さんにはご意見がたくさんあると思いますが、今日の皆さんの意見を町田市の場でまたくみ上げていただいて、いいお答えをいただきたいと思いますので、よろしくどうぞお願いいたします。

○閉会の挨拶 (町田第一地区町内会・自治会連合会副会長)

皆様、どうも長らくご協力いただきまして、ありがとうございました。私も今、この議論の中で芹ヶ谷公園のトイレが約束されたということで、非常に安心をいたしました。ありがとうございます。議論は尽きませんが、時間がありますので、ここにお開きにしたいと思います。どうもありがとうございました。(拍手)

以上